「台湾・台南市との友好交流」に関するパブリックコメント／意見の概要と本市の考え方

総務部総務課国際交流推進室

No.	意見原文	本市の考え方
1	台南市との友好交流の協定の締結は未来に向けた投資の一つになると感じます。特に教育や人材育成の分野での交流は、子供たちが国際的な視野を広げ、将来の地域を担う力を養う大きな機会になると考えます。 今後は高校生・大学生だけではなく、小中学生も参加できる学びの場を広げていただきたいです。また、市民広報の必要性も感じたところでした。	これまでの高校生同士の交流実績を踏まえて、今後、若者世代間でどのような交流ができるか庁内関係部署と連携し、検討してまいります。 また、市民の皆様への広報については、国際交流推進室の広報紙やＳＮＳを活用して分かりやすく丁寧な情報発信に努めます。
2	内容は読ませてもらいました。市発展のため頑張ってください。	協定締結により、経済、産業、観光、教育、スポーツ及び文化などの幅広い分野での友好交流に取り組み、両市のさらなる発展を目指してまいります。
3	台南市との友好交流については大いに賛成します。延岡市の活性化につながることを期待しています。ただ各分野との具体的な案を示していただくと良かったと思います。特に産業に於ける工業誘致ができるのか、経済交流での得られるメリットは何か等が知りたい。	今回の友好都市協定につきましては、包括的な協定を締結した後に、個別具体的な交流事業を進めていくこととしているため、今後、産業分野を含めた庁内関係部署と連携し、台南市との協議を進めてまいります。 また、交流の進捗状況については、国際交流推進室の広報紙やＳＮＳを活用して随時お知らせいたします。
4	海外の人達との交流を深める事は良いと思います。	協定締結により、経済、産業、観光、教育、スポーツ及び文化などの幅広い分野での友好交流に取り組み、両市のさらなる発展を目指してまいります。

5	私は延岡市で農業を営んでおり、水稲やお茶・ミニトマトなどを栽培しています。また地域の魅力を伝える取り組みとして民泊事業に携わっています。これまでに、台湾の高校生や大学生を受け入れた経験があります。短い滞在時間でしたが、文化や言語の違いを超えて心を通わせることができ、特に高校生の女の子達とは深い絆が生まれ、別れ際には涙を流してくれたほどでした。 そのような交流の中で、私自身お茶を栽培してることもあって台湾のお茶の栽培方法や製造過程に興味を持っていることを伝えると、色んな観光地を教えてくれました。大学生の一人からは「親戚が茶業を営んでいるで案内します」とのお誘いも受け、台湾を訪れる準備を進めていましたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で実現には至りませんでした。 延岡市と台南市が友好都市として交流を続けていくことはとても意義深いことだと思います。今後は農業やお茶、そして民泊といった地域資源を生かした市民レベルでの交流が、より一層広がっていくことを願っています。私自身、今後機会があれば台湾を訪れ、現地の農業や文化に触れることで両市の繋がりをさらに深める一助になりたいと思っています。 追記 そのため、農業（お茶づくりなど）民泊を通じて、観光の中で市民同士が触れ合う交流があると良いと思います。	今回の意見募集に対して、ご理解・ご協力いただける旨のご意見、誠にありがとうございます。本市としても、国際交流に携わる方々や産業分野も含めた庁内関係部署と連携し、台南市とも協議を行いながら、どのような事業が実施できるか検討してまいります。
6	台湾との交流はいいと思います。幅広い友好交流でIT関係の仕事、雇用に繋がれば延岡も活気がでるのではないでしょうか。難しいことはよくわかりませんが、台湾の食べ物に興味があるので例えば延岡市と台南市のグルメを集めたイベントなど開催されたら嬉しいのです。	国際交流に携わる方々や産業分野も含めた庁内関係部署と連携し、台南市とも協議を行いながら、どのような事業が実施できるか検討してまいります。
7	延岡市と友好都市（姉妹都市含む）として交流を継続している国・都市は国内を除いて下記の如くと聞き及んでいます。 ・メドフォード市　1980年姉妹都市締結　米国マサチューセッツ州 ・大連金普新区　　2012年友好都市締結　中國遼寧省大連市 ・ボトロップ市　　2024年パートナー都市　ドイツ 私の所属している「宮崎県北地区日中友好交流推進会」も13年前大連金普新区と友好都市締結に官民挙って参加しました事を記憶しております。締結後の我々の交流活動は、行政の後押しも頂き活発に行われました。途中コロナの影響でブランクも有りましたが、来る締結15周年を迎える2027年に向けて盛大な交流行事を計画しています。 このように世界のいろいろな都市との出会い・交流が締結され双方の市民との文化・歴史を基調とした交流は大事なことです。そう大いにやるべきと考えています。さらに行政サイドにて推し進められる、産業・経済・観光・教育・スポーツ等の交流民間同士での子供・学生間の相互訪問交流は、最も力を入れて貰いたい。これから未来ある子供たちに、言葉や生活習慣の異なる世界中の人々との交流が始まり、継続してのお付き合いをし、相互の文化習慣の違いを経験することが若い世代の人々に最も大事かと思います。 行政のお力添えと民間のネットワークを駆使して息の長い交流の土台を構築して頂きたいと思います。でも行政だけに頼りお願いするのでは無く、民間で何が出来るかを考えてみました。当会の仲間でも有り、海外会員であります〇氏は延岡から、奥様の母国台湾に拠点を移して両国の文化交流に頑張っておられます。日本台湾との交流に伴うアドバイザー・通訳として、台湾を訪問される方々の強い味方として、ご夫婦で献身的なご尽力を頂いていますことを聞き及んでいます。日中友好交流推進会と致しましても、民間交流のお手伝いとしまして、通訳・翻訳等お手伝い、スポーツ交流のお手伝い、それら人的交流の受け皿としてホームスティ先としてのお手伝い、民間相互訪問の企画・実施・情報発信等々、それら一連の交流が末永く息の長いお付き合いのできますことを念じ、微力ですが両国の文化交流に協力できます事を願っております。	今回の意見募集に対して、ご理解・ご協力いただける旨のご意見、誠にありがとうございます。協定締結により、経済、産業、観光、教育、スポーツ及び文化などの幅広い分野での友好交流に取り組み、両市のさらなる発展を目指してまいりますので、その中で、若者世代間でどのような交流ができるか庁内関係部署と連携し、検討してまいります。 また、本市が協定締結している他の海外都市につきましても、国際交流に携わる方々等のご意見を伺いながら、交流について検討してまいります。

8	令和５年５月より、「デジタル産業の延岡での集積を進めるための戦略協議会」を設置し、誘致戦略について専門家や関係機関等と協議を進めていた中、半導体産業において必要となる化学・材料分野での技術集積がある当市と台湾との間での人材育成などを中心とした各種交流を台湾側に提起してはどうかなどの意見が出されましたとありますが、もう少し交流するためには、一歩踏み込んだ活動方針を提示した上で、相手側（台湾）に協力を求めるべきであると感じました。しかしながら取組を促進するためには、交流事業に関する講演会を始めとして取り組みを今まで強化すべき対策をして来ていると思いますが、その後にも対応や反応を検証して次に生かしていくべきと思います。特に延岡市の鳴り物入りで始めた事業は、最初は熱が入っていますが、知り窄みになりがちです。その為には何が必要で何をどの様にすべきかを、常に検証するべきと思います。折角、友好交流協定を締結する為に始める事ですから、多方面からの意見を集めるために「推進審議会の定期開催」をすべきと思います。しかも、台南市と延岡市は相互信頼と尊重を礎として相互の友情を発展させるために友好交流協定を締結する予定であればなおの事、息の長い交流事業をすべきと思います。その一案として ①2000年に設立され今年で25年を迎えた「日中友好交流推進会」に私は所属していますが、私たちの団体との意見交換会を開催すべきかと思います。 ②今後、息の長い交流事業を行うのであれば、高校生や中学生等の若い人材の発掘をすべきと思います。 ③私が若い時代には有りましたが「日中友好青年の船」とか「日中友好青年の翼」等の交流事業を再度、再開すべきと思います。 ④近くて遠い中国ではありますが「食わず嫌いして敬遠して居るべきでは無い」と思います。 ⑤どしどし交流事業をＰＲして若手の人材交流を図るべきと思います。 ⑥併せて、年に一度でもいいので交流のために中国イベントを開催し、相手を知るべきと思います。 ⑦さらに事業を拡大し継続させるためには、多方面にライオンズクラブやＪＣやロータリークラブに協力を仰ぐ必要性を強く感じます。 最後に、大上段に構えて取組むと尻窄みになります。尻窄みにならない様に多彩に継続的な事業をしていかなければならないのです。相手が何を望んでいるのか、こちらの文化伝統を理解してもらえる様に様々に努力は必要と思います。そのためには相手を知る事であり、定期的な交流推進ツワーなどを折りに触れて募集をすべきと思います。 事、先端技術に関しては良いとこ取りをするのではなく相互関係の強化委が必要であると思います。特に人材育成事業については、中高生に対して継続的に学習会や説明会などの広報活動を広く行い、種を蒔く息の長い計画をすべきと思います。	協定締結により、経済、産業、観光、教育、スポーツ及び文化などの幅広い分野での友好交流に取り組み、両市のさらなる発展を目指してまいります。その上で、活動が円滑に継続できるように、国際交流推進室が中心となり、国際交流に携わる方々や庁内関係部署との連携を強化してまいります。 広報につきましても、国際交流推進室の広報紙やＳＮＳを活用し、分かりやすく丁寧な情報発信に努めてまいります。 また、本市が協定締結している他の海外都市につきましても、国際交流に携わる方々等のご意見を伺いながら、交流について検討してまいります。